

## 第5回 環境振動評価小委員会 議事録(案)

A. 日時 2010年1月29日 金曜日 17:30～19:30

B. 場所 建築会館 会議室

C. 出席者 益田主査、他9名

D. 提出資料(提出委員名も記入して下さい)

No.5-0 第4回環境振動評価小委員会議事録(案)

No.5-1 運営委員会議事録案@11月24日

No.5-2 運営委員会議事録案@1月19日

No.5-3 高架道路橋を振動源とする地盤環境振動の遠距離伝搬メカニズム

No.5-4 今後の環境振動(キーワード分類)

E. 議事内容

1. 議事録確認(資料5-0)

◇ 誤字改訂の後、承認

2. 議論

1) 資料No.5-3(高架道路橋を振動源とする一)について益田主査より説明

◇ 地盤振動の伝搬現象において「現地計測」「模型シミュレーション」「数値シミュレーション」を比較

◇ 模型実験時の各種条件の相似則の設定が重要かつ手間がかかる

◇ 加振源を標準化できれば(現状歩行振動のみ設定)、さらに詳細な検証が可能と思われる

2) 資料No.5-4(今後の環境振動)について新藤委員より説明

◇ これまでに寄せられたキーワードを大別すると「可視化」「データベース」「基礎研究」「品確法」等

◇ 可視化:環境振動に関するリスクを「見える化」し一般消費者への説明性向上をはかる

◇ 環境振動データベース:各種データを集積し、最終的にモデル化・シミュレーションへの活用を検討

◇ 加振源の標準化:加振源のパターン化を行い、シミュレーションへの活用を検討

◇ 広域実測:地域実測、ロシア実測、ハザードマップ、広域モニタリング等

◇ 評価:振動の評価をプリミティブに行う、基礎研究の収集に努める

3. 次回以降の課題

◇ 4つのSWG(「評価」「可視化」「環境振動データベース」「広域実測」)へチーム分けを行う

4. 次回開催予定

◇ 次回委員会は、2010年4月19日(月)、17:30～、本会会議室で開催予定

5. 他(連絡事項等)

◇ なし